

精密機能検査

● 背景・目的

ごみ処理施設、し尿処理施設、リサイクル施設等は、市町村等の廃棄物処理事業の中核を担う重要な施設であり、それぞれの施設の機能状況等を常時把握し、施設の保全に努めるとともに、効果的に維持管理し活用する必要があります。このため、施設の機能を保全する通常の保守点検業務に加えて、定期的に運転管理実績、施設の処理機能、設備装置の状況等について精密な検査（精密機能検査）を行うこととされています。

廃棄物処理法の規定では、機能検査を毎年1回以上行い、各種分析・検査の結果を都道府県に報告することされており、精密機能検査は3年に1回以上行うことになっています。

当社は、専門家として培った技術、経験を活用して精密機能検査を実施し、検査対象施設の綿密な現状分析と評価を行うとともに、計画的維持管理に資する改善案を提言します。

● 検討のポイント

①書類調査

施設の概要・運転管理の経緯と現状を確認し、搬入量・処理量、稼働日数、運転時間等の年間・月間実績及び運転作業状況、補修・整備工事の実績、維持管理費用等の各種データを収集し整理・分析しての実態を把握します。

②現地調査

各種設備・装置をリスト化し、動作状況、損傷箇所等を調査します。また、必要に応じて、排ガス・水質等の分析を行います。

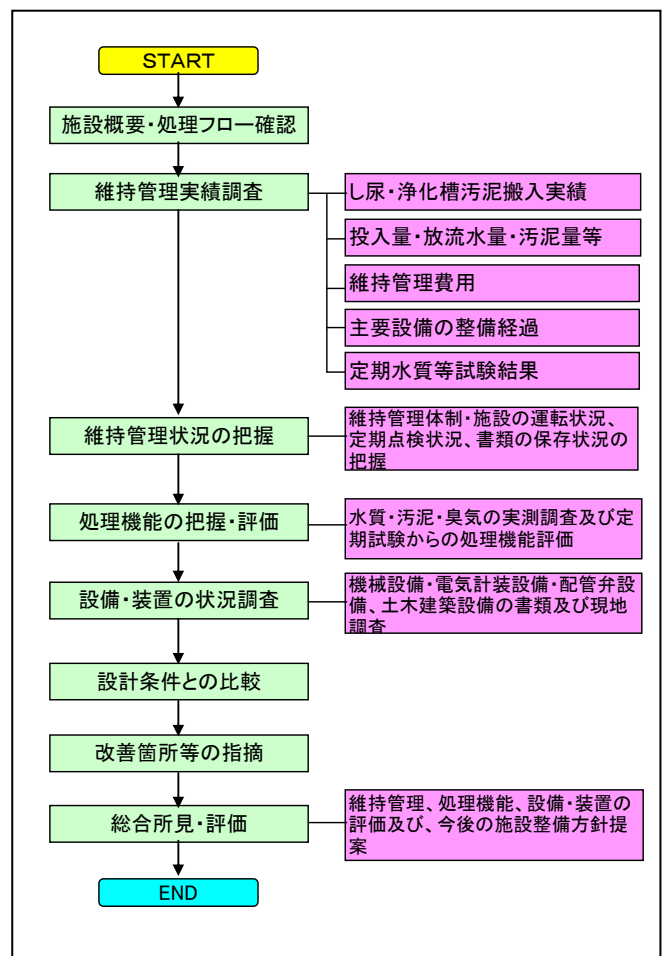
③処理機能等の評価

処理機能、公害防止性能、設備健全度、維持管理体制等を設計基準、維持管理基準等と比較して評価します。

④改善案の提示

現状評価の結果に基づき、中短期及び長期に分けた課題・改善項目を抽出し、改善案を提示します。

● 業務構成（検討手順等）



● 検討のポイント（続き）

① 運転管理データの収集・整理・分析

施設の運転管理実績、維持管理状況、補修状況等に関する資料（3年間以上）を収集し、ごみ・し尿等の搬入実績、処理量、電力・水・燃料・薬品使用量、排ガス・排水等の量・濃度、補修・整備工事の履歴、維持管理費用等の運転管理データを種類別、年度別・月別の平均値や変動状況を整理・分析します。分析・検査データが不足している場合は、必要に応じて追加調査を行います。

② 設備装置の状況調査

施設内の設備・装置・機器類のリストを作成して、各機器の稼働状況、性能、不具合や損傷の状況を現地調査します。設備装置の老朽化・損傷等が発見された個所は撮影して経過観察、要補修、要交換等の判定を行います。調査日程は、施設の運転・年間補修計画にあわせて実施します。

③ 施設の処理機能等の評価

運転管理データの経年的な変動、季節的な変動を分析し、設計基準や維持管理基準、また類似施設のデータと比較し、処理性能について評価・考察するとともに、施設の維持管理体制、設備・装置の老朽度・健全度の判定を行います。

④ 改善案の提示

一連の検査結果に基づき、施設の課題と改善項目を抽出し、施設の構造及び維持管理方法の改善、修復、整備に資する改善案・整備方針案を提示します。

● 当社の提案のポイント

- 施設の運転管理データをわかり易く整理・分析して設計基準、維持管理基準と比較するとともに、ごみ1トン、し尿1キロリットル当たりの基準値や類似施設データと比較して評価します。
- 現地調査は、施設の規模・種類・設備内容・老朽度等に応じて異なり、調査内容を提案します。また、運転管理者と密な連携を図り、ヒアリングを行って、綿密な調査を実施します。
- 施設の処理機能の維持、改善に資するため、中短期及び長期的な課題と改善項目を抽出し、中短期及び長期に分けた実効性のある改善案を提示します。